

「看護」の入り口に立つあなたへ iii

Chapter 1

看護学生にとって「読む」こと「書く」こととは

1	「読む」こと「書く」ことの基本 002
	① 「読む」こと「書く」ことには段階がある 002
	② 「ことば(単語)」の意味を知る 002
	③ 「主語・述語」に気を配る 003
	④ 「文脈」を意識する 004
2	看護師は多くの人と情報を共有する 005
	① 看護師—看護師 005
	② 看護師—他の医療専門職 006
	③ 看護師—医療専門職ではないメンバー 006
	④ 看護師—患者・家族 007
3	看護学生と「読む」こと「書く」こととの関連 008
	① 看護記録を読み取る 008
	② 看護学生が書く実習記録 008
	③ 看護記録をもとに行われる看護行為 009

Chapter 2

看護学生が「読む」ということ

1	看護における「読む」ことの重要性 012
	① 「読む」ことと「読み取る」こと 012
	② 自分のものさしと共通のものさし 013
	③ 理解しやすい文章だけ読んでいればいいのか? 014
	④ 「読む力」をつける 015
2	文章を「読む」視点 017
	A 視点1: 読む目的をもつ 017
	① 「目次」や「見出し」がある場合 017
	② 「目次」や「見出し」がない場合 018

	B 視点 2: 読み方を工夫する	019
	① 映像化する	019
	② 文脈から読み取る	020
	③ 展開をイメージする	021
	④ 教科書の読み方	022
	C 視点 3: 読んだ内容について考える	023
	① 感想や意見をもつ	024
	② 関連づける	024
3	看護学生の「読む力」を伸ばすには	026
	① 読むときの3つのステップ	026
	② 語彙を増やす	028
	③ 文章をもとに調べる	029
4	「読む」レッスン	030
	① 読んでみよう	030
	② チェックしてみよう	031
	□ 練習問題①	031
	□ 練習問題②	033
5	看護学生のためのブックガイド	035
	① あまり本を読んだことのない読書初心者	035
	② ほかの人の意見を聞いてみたいときに	036
	③ 看護にかかわる先達のメッセージ	037
	④ 生命(いのち/せいめい)について考えを深めるには	038
	⑤ 近代文学を味わってみよう	039

Chapter 3

看護学生が「書く」ということ

1	看護における「書く」ことの重要性	044
	① 主題(テーマ)と要点(ポイント)	044
	② 看護師は何を書くのか?	045
	③ 読み手に伝わる文章とは	047
	④ 「書く力」をつける	048
2	文章を「書く」視点	050
	A 視点 1: 読み手を意識する	050
	B 視点 2: 書き方を工夫する	052
	① 起・承・転・結で書く	052

② 根拠から書く	054
③ 主張(結論)から書く	056
C 視点3:文章を読み直す	058
① 推敲する	058
② 時間をおいて読み直す	060
3 看護学生の「書く力」を伸ばすには	062
① 書くときの3つのステップ	062
② 感想を書く	067
③ 課題レポートや看護記録と、メモとの違い	070
④ ことばを使いこなす	070
4 「書く」レッスン	073
① 書いてみよう	073
② チェックしてみよう	074
□ 練習問題③	075
□ 練習問題④	075

Chapter 4

看護学生が「読んで書く」ということ

1 「読む」ことと「書く」ことの循環	078
2 「要約」について	080
① 要約してみよう	080
② チェックしてみよう	082
□ 練習問題⑤	083
□ 練習問題⑥	083

Column

- クリティカルシンキング(批判的思考)とは 025
- 文章を書くうえでの作法 049
- 課題レポートや看護記録と、SNS投稿の違い 061
- 話しことば(口語)と書きことば(文語) 072

参考文献一覧	084
これからの「学び」のために	085
巻末資料A～D	

1

「読む」こと 「書く」ことの基本

①「読む」こと「書く」ことには段階がある

私たちは、生まれたときから「読む力」や「書く力」を備えているわけではありません。生活の中で、あるいは教育を受けることで、「読む」こと「書く」ことを少しずつ習得していきます。

つまり、記号としての「文字」から、「文字」のつながりでできた「ことば（単語）」へ、さらに「ことば」をつなげて組み立てた「文章」へと、段階を踏んで、読んだり書いたりできるようになるということです。

Chapter 1 では、「読む」こと「書く」ことの基本となる事項について、例文をあげながら見ていきましょう。

②「ことば（単語）」の意味を知る

例文 1

4月から、私は看護学生になります。

例文 1 では、4月・私・看護学生という「ことば（単語）」を使っています。それぞれの意味は、皆さんが理解しているとおりです。「読む」こと「書く」ことにおいては、まず、「ことば」の意味を知ることが基本になります。

多くの「ことば」の意味を知っていることが「読む力」「書く力」の底上げになりますから、皆さんはこれから、医療や看護の専門用語をしっかりと学んでいく必要があるということです。

4

「書く」レッスン

① 書いてみよう

ここでは、「書く」レッスンの題材として、ふたつの主題（テーマ）を提示します。

ひとつ目は、あなたがこれから入学する看護学校／看護大学の、教員に向けた「自己紹介文」、ふたつ目は、クラスメートに向けた「看護学校／看護大学で頑張りたいこと」です。それぞれ400字以内で書いてみましょう。

p. 52 で示した基本的な文章構成の型「起・承・転・結」を使って、文章を書くときの3つのステップのうち、ステップ1と2を意識して書きましょう。

【書くときの3つのステップ】

- ▶ ステップ1: 目的や場面に合わせて主題（テーマ）を決める
- ▶ ステップ2: 目的や場面に合わせて要点（ポイント）を定める
- ▶ ステップ3: 文章を洗練させる／装飾する

書いた文章は必ず読み返します。その際、「書き手の視点」から「読み手の視点」に意識を移動させましょう。「自己紹介文」では看護学校／看護大学の教員の立場で、「看護学校／看護大学で頑張りたいこと」ではクラスメートの一員になったつもりで読み返しましょう。

最後に p. 74 の項目に従って「推敲」を行い、文章を読み直し工夫して磨いていきましょう。これが、書くときのステップ3にあたります。